

月例議員活動報告 第256号 表面　　発行日 令和8年9月18日

イエ～イリ パイプライン

家入

まじめに こつこつ 一歩ずつ
誠実・堅実・着実

いえいり ときはる
家入 時治　赤穂市議会議員　６期
・建設水道委員会委員長
7/1～国民民主党地方議員
連絡先　〒678-0233　赤穂市加里屋中洲５丁目45-2　電話090-4560-5427

【8～9月の市政・議会の主な動き】 赤穂市民病院の経営形態見直しはR3年に決断すべきだった!!

1. 第3回定例議会の一般質問、私は9月25日に登壇

令和8年第3回定例議会は、9/4(金)に開会し、議案については、9/9(水)～9/11(金)に各常任委員会を開催し、議案はいずれも原案通り可決となっています。

9/25(金)議会本会議最終日に表決されます。

議員の一般質問(問題・課題に対し意見・提言し市長の答弁を求めるもの)は、9/24(木)と25(金)に行われます。

私の**質問は、9/25(金)10:45ごろからになります。**

質問の項目は以下となります。

第1. 赤穂市財政改革プラン2026(案)に至る市長の責任問題について

(1)行政サービス低下の要因である赤穂市民病院の経営形態の見直しの判断遅れの責任について

(2)職員の給与水準の見直しが見込まれていることによる職員のモチベーションの低下について

(3)退職せざるを得ない赤穂市民病院及び市役所の会計年度任用職員への感謝と再就職支援について

(4)基本方針と赤穂市財政改革プランの取組事項について



第2. 行政、自治会、民間団体、ボランティア団体等が主催する事業やイベント等の周知による財政支出の削減及び地域コミュニティ形成の手法について

であります。**是非傍聴またはインターネット中継をご覧ください。(約1週間後録画放映も見ることができます)**

2. 第123回義士祭、松平健さんが大石内蔵助 ！！

8/31(月))赤穂義士祭奉賛会第2回理事会が開催され、建設水道委員長として出席しました。

議案は、令和8年度赤穂義士祭基本計画の承認、令和8年度義士祭奉賛会収支予算の承認についてでした。義士祭パレード、露店、忠臣蔵交流物産市、会場行事や警備救急、広告宣伝等について確認し承認されました。

【8～9月の主な議員活動】 変えよう赤穂!高砂賢一後援会の体制整う(裏面に高砂賢一の公約を記載)

1. 9/11(金)「高砂賢一後援会」幹事会へ出席

「高砂賢一後援会」の体制が整ってきました。冒頭**「高砂賢一」本人から力強い決意表明がありました。**

私も後援会の一員として活動しています。



2. 中洲自治会夏まつりは、焼きあなご・金魚すくいも



8/23(日)地元中洲自治会恒例の夏まつりが開催され、中洲自治会員はもちろん、市内のたくさんの子どもたちも喜んでいました。役員の皆さん暑い中お疲れ様でした。

3. 国民民主党兵庫県連第7回常任幹事会

8/24(月)常任幹事会に初めて出席し、自己紹介、国民民主党地方自治体議員の公認・推薦の確認、国民民主党代表選挙等について意見交換しました。

また、**県連の向山衆議院議員には、JR西日本の新快速等の長距離運転により事故・災害時のダイヤの大幅な乱れを解消する運転距離の見直し等を要望しました。**

4. 連合兵庫・連合西部合同2026地域活性化フォーラムに出席

8/22(土)姫路において、「人口減少時代の地域経済と地方都市の可能性」 ～郊外地域から考える播磨圏の未来～について、関西大学の三崎教授の基調講演とパネルディスカッションを拝聴しました。



パネラーの姫路市副市長に、姫路城の高い拝観料は、播磨圏域は姫路市民と同額にならないか質問し、姫路市副市長は、市長に伝えるとの返答でした。

【8月の市民相談】 牛舎の臭いが新田地区まで臭い！ 国道天和付近のガードレール延長をなど5件



赤穂の未来を動かす「４つの約束」

① 子どもや若者への投資を推進し「学びのまち赤穂」へ

- 学校のタブレットを「ただの遊び道具」にさせない、メディア教育を行います。
- 赤穂で働き始める大卒・高専卒などの若者の奨学金返済を市が支援します。
- 地元の大学や高校との連携を強化し、学生の力を活かしたまちづくりを推進します。

② 市の経営改革と産業振興を推進し「稼ぐまち赤穂」へ

- 情報公開を推進し、市政を透明化します。
- 農業を稼げる産業へ！新規就農の促進と後継者問題の解決へ環境を整備します。
- 地元企業を手厚くサポートします。
- 土地の規制緩和等で企業の新しい挑戦を支援します。

③ 暮らしの安全・安心を守る「安心のまち赤穂」へ

- 地域医療の質を確保するための、確かなチェック体制を作ります。
- 近隣の自治体とも協力し、まちの環境リスクを抑えて安心の暮らしを守ります。
- 大規模災害に備え、生活や経済をいち早く立て直す計画を策定します。

④ 地域の活力を取り戻し「元気なまち赤穂」へ

- お年寄りや不便な地域の交通を、デマンド交通で支えます。
- まちの活気を取り戻すため、民間と連携して花火大会を復活します。
- 組織改革を行い、市民の皆さんのために挑戦する市役所に変えます。

高砂けんいちのプロフィール

1983年(昭和58年)7月赤穂市生まれ。御崎小学校区で育ち、現在は坂越在住
小学生の２児の父。赤穂市消防団第８分団(坂越地区)団員、狩猟免許(猟銃・わな)保持

【学歴・民間経験：経営感覚の礎】

▶慶應義塾大学 環境情報学部 卒業

▶帝人株式会社(旧東証一部・2007年４月～2010年12月)
経理・投資家向け広報(IR)に従事

【行政経験：15年の実務と現場力】

▶赤穂市役所(2011年４月～2026年３月)
情報政策、会計、財政、農林水産、区画整理、広報等の業務を歴任

▶兵庫県市長会(神戸市)へ派遣(2024年４月～2026年３月)
県内の29市と連携し、各市間の連絡協調、調査研究のために奔走



今年４月に和気町で開催されたトレラン大会で47kmを走破

高砂けんいち
オフィシャルサイト
https://takasago-kenichi.jp/

高砂けんいち
オフィシャルLINE

たかさごけんいち後援会
入会フォーム

本資料は、たかさごけんいち後援会の政治活動(政策討議)のために使用するものです。

発行元：たかさごけんいち後援会　【連絡先】住所：赤穂市加里屋46-3　TEL：080-3917-2525